



もっとコミュニケーション!

- 皆さまの声から改善しました
- カウンターパート活動を通じて、活発な対話活動を行っています[発電所の一員として]
- 地域の皆さまからいただいた様々なご質問にお答えします[おしえて!エコロン]
- 発電所ニュース ● サービスホール3月の催し

「菜の花と残雪の米山」
柏崎市平井

緊急時モニタリングセンター訓練に参加しました

1月25日(火)、当社は原子力規制庁が開催した緊急時モニタリングセンター(EMC※)活動訓練に参加しました。訓練では緊急時に必要となる、発電所周辺地域の放射線量率の測定や環境試料(水道水・土壌など)の汚染状況の分析について計画・指示を行うための役割分担や、必要な情報を登録・管理するシステムの操作方法などを確認しました。

※EMC:緊急時に国、地方公共団体、原子力事業者、関係指定公共機関などが連携してモニタリングを実施することを目的としている国が統括する組織



訓練の様子

参加者からの声



放射線安全部
放射線管理グループ
ゆげ ふみの
弓削 文乃

訓練では、緊急時に放射線量や汚染の状況などを正確に評価するために必要な手順を確認しました。
発電所で異常が発生しないよう日頃から努めていくことが大前提になりますが、こういった訓練にて経験を蓄積することが、地域の皆さまの安心材料のひとつにつながれば幸いです。

今回初めてEMC活動訓練に参加し、実際の緊急時を想定した情報の流れや、システムの操作方法について確認を行いました。
緊急時においても、冷静かつ正確に対応できるよう今後も訓練を重ね、技能を高めていきたいです。



放射線安全部
化学管理グループ
えまた りさ
江又 理沙

緊急時に備えた訓練を行いました

発電所では毎月、緊急時に備えた訓練を実施しています。2月4日(金)には、毎月の訓練を総括するため年に1回実施している緊急時演習を行いました。この訓練は、原子力災害発生時に原子力防災組織があらかじめ定められた機能を有効に発揮できるようにするため、原子力事業者防災業務計画と保安規定に基づき行うものです。

当日は緊急時対策所や現場などで、地震や火災を起因とした原子力災害の発生を想定し、関係機関への通報、火災に対する初期消火対応、応急復旧のための対応について訓練を行いました。またあわせて、当社事務所で勤務している職員・協力企業作業員を対象とした避難訓練を実施し、避難経路や避難方法の確認を行いました。



緊急時対策所で指揮を執る
所長の稲垣(右下)



消火訓練の様子



避難訓練の様子

改善措置活動や改革の取り組み状況をホームページでお知らせしています

2月14日(月)に、柏崎刈羽原子力発電所における一連の不適切事案を踏まえた改善措置活動や、原子力改革の取り組み状況等をお知らせする特設Webサイト「柏崎刈羽原子力発電所 変えるアクション」を発電所ホームページにて公開しました。

ニュースアトムで取り上げた取り組み状況の詳細な内容など、イラストや写真を使用し分かりやすく皆さまにお伝えしてまいりますので、ぜひ、ご覧ください。

「柏崎刈羽原子力発電所 変えるアクション」はこちらから



皆様の声から改善しました

発電所では、地域の皆さまから頂いた声を受けて、より良い発電所の運営を行うための改善活動を行っています。その一例をご紹介します。

改善

2021年12月より新規・更新の入構証は、有効期限を大きく印刷するよう変更しました。なお、入構証の有効期限は、所持者本人と所属会社の責任者による管理を徹底しており、あわせて、有効期限切れの対策として、一人ひとりチェックをする際にシステムも利用する運用に変更するなど厳正な確認を実施しています。

今後も皆さまからのご意見を発電所運営に活かしてまいります。

発電所の入構証に記載されている有効期限の記載が小さく、警備員が確認しにくいのではないのでしょうか。もっと大きく表記するように変更してみてもは。(2021年5月)



入構証イメージ

今月号のニュースアトムでは、「もっとコミュニケーション!」と題して、地域の皆さまや協力企業の皆さまとのコミュニケーション活動について特集しています。次ページの「発電所の一員として」や、5ページの「おしえて! エコロン」をご覧ください。今後も活発なコミュニケーションを推進してまいります。



対話活動の様子

カウンターパート活動を通じて、 活発な対話活動を行っています。

発電所では、「カウンターパート」と呼ばれる活動を通じて、協力会社と当社が情報交換や対話によるコミュニケーションを行う場を設けています。活動を通じて所員が感じていることや、改善できた事例などについて話をお聞きしました。

(2022年2月取材)

※撮影のためマスクをはずしています。

Profile

中村 智之

福島県出身。柏崎市在住。1996年入社。柏崎刈羽原子力発電所に配属。放射線管理業務や放射線管理設備の管理業務に携わる。2020年12月より現職に至り、発電所業務の検証を行い、改善につなげる業務を担当。

「現在の業務は、これまで経験してきた放射線に関わる仕事とは異なりますので、基礎的なことからしっかりと学んで日々の業務に取り組んでいます。」



東京電力ホールディングス株式会社

柏崎刈羽原子力発電所

原子力安全センター

安全総括部 品質保証グループ

なかむら ともゆき
中村 智之

放射線安全部 放射線安全グループ

いとう けんいち
伊藤 健一

伊藤 健一

柏崎市(旧高柳町)出身。柏崎市在住。1994年入社。柏崎刈羽原子力発電所に配属。主に放射線管理業務に携わり、2017年10月より現職に至り、発電所従業員の放射線被ばく量管理や管理区域内での保護具の洗濯管理業務などを担当。

「小学生の息子とキャッチボールをするのが休日の楽しみです。日に日に投げる力が強くなる様子が、親としてうれしいです。また、週末は学童野球チームの活動に参加していますので、シーズン中は練習と試合で忙しくしています。」

— 中村さんが事務局を務めている『カウンターパート活動』について、教えてください。

中村 当社と協力企業で定期的なコミュニケーションの場を設けることで、活発な対話による継続的な改善を行い、発電所をより安全にしていけるための活動です。具体的には、1つの協力企業に対し発電所内の1つのグループがパートナーとなり、月に1回程度代表者で対話を行い、要望事項の聞き取りや、安全に関する情報の周知、意見交換を実施しています。この活動は2009年から開始し、現在は40社を超える協力企業が参加しています。私は事務局として、各グループの活動状況の管理を行っています。

— 実際に活動の中では、どのような話をしているのでしょうか。

伊藤 私は発電所の維持管理や環境衛生に関わる業務を主に行っていただいている新潟環境サービス株式会社の皆さまと毎月対話活動を行っています。当社や他の会社で発生した事故(人的災害)の情報資料を共有して、同じような事故が起こる危険はないか、起こさないためにはどのような対応や対策が必要かを話し合います。その他にも、日頃の現場作業における悩みや困りごとを伺い、解決するためのアイデアを出し合っています。

— 活動を行う際に心掛けていることがあれば教えてください。

伊藤 協力企業の皆さまが普段思っていることを言い出しやすくなるよう、対話活動は協力企業の事務所に私たちが伺い実施しています。また、実際に作業を行っている現場を見ながら話し合うようにもしています。

— 柏崎刈羽原子力発電所で働く一員として、地域の方々へメッセージをお願いします。

中村 福島第一原子力発電所のような事故を二度と起こさないため、まずは業務の品質管理をしっかりと行うことで、安全・安心な発電所づくりを目指して日々業務に取り組んでまいります。

伊藤 世界に誇れる安全で安心な発電所を作り上げていくために、協力企業の皆さまと協力しながら、日々やるべきことをしっかりとやっていきます。

伊藤さんと共に活動を行う 協力企業の皆さまから、 お話を聞きました。

■ 新潟環境サービス株式会社

この活動は、当社と東京電力と一緒に現場を見て、考えることができる貴重な機会なので、お互い



に不安や疑問を隠さずに打ち明け、様々なアイデアを出し合い問題を解決しています。地域の方々の安心に繋げるためにも、今後も活動を継続して安全で確実な作業を行ってまいります。

カウンターパート活動には様々なグループ・ 協力企業が参加しています。その中で出た 改善事例などについて紹介します。

■ 総務部 業務システムグループ

活動の中で出た具体的な改善例では、コンピュータ設備が影響を受けやすい温湿度管理について、設定ミスが起こってしまうようなケースを想定し、対策を検討・実施しました。1つの業務を互いに違った立場や目線から見ることで、これまで気が付かなかった部分を見つけることができる活動だと思っています。

■ 株式会社 日立システムズパワーサービス

活動を通じて、日常的にコミュニケーションを取ることで信頼関係が構築され、業務上の問題



点についても率直に意見交換することができています。また、安全に関する意識が高まったおかげで、普段過ごしている事務所などの身近に潜む危険箇所についても発見し、対策を行うことができました。

おしえて! エコロン



地域の皆さまから様々な種類のご質問をいただいています。
今日は、その中から、いくつかご紹介します。

Q エコロンのプロフィールが知りたい!

緑の音が聞こえる

発電所で生まれ育った妖精
誕生日は10月10日
空を飛んだり、泳いだりできる



水や海の
音が聞こえる

土の音が
伝わる

Q 鉄塔には、赤白に塗られているものと塗られていないものがあるけど、どう違うの?



鉄塔は、高さが60mを超えるものは、「航空法」に基づき赤白に塗装したり、目立たせて、飛行機のパイロットからもよく見えるようにする必要があるんだよ。これは、東京タワーが赤白に塗られているのと同じ理由なんだ。発電所のなかにある避雷鉄塔も赤白に塗られているよ。ちなみに、発電所の排気筒は塗装の代わりに「障害灯」というライトをつけているんだ。(東京スカイツリーも、ライトがついているよ)



Q 発電所構内で除雪した雪は、どこかに捨てているのですか?

発電所の構内に仮置き場を作って、雪が解けるまで保管しているよ。

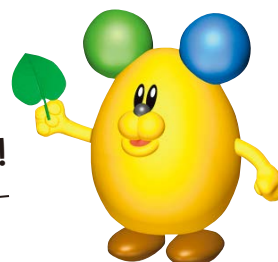
Q 発電所には今、何人くらいの方が働いているのですか? 昔と比べると、減っているのでしょうか。

今発電所で働いている人の数は、これくらいだよ。例えば、12年前の同じ頃とくらべると…

	2010年2月1日	2022年2月1日
東京電力社員	1,148人	1,129人
協力企業の方々	5,653人	4,461人
合計	6,801人	5,590人

前月号でも紹介したとおり、発電所では停止中も安全対策工事だけでなく色々な作業をしているから、今もたくさんの方が働いているよ。

エコロンに教えてほしいことや、
小さな疑問があったらアンケートで教えてね!



Webアンケートはこちら

添付のはがきの代わりに、Webからでもアンケートにご回答いただけます。右のQRコードからアクセスしてください。発電所に対するご意見・ご要望もご記入いただけます。



発電所公式SNS



発電所公式LINEアカウント

サービスホールなど発電所の広報施設のイベント情報、地域のお店とタイアップしたお得なクーポンなどを毎月配信中!

★クーポンなどの協力店さまを募集しています★



友だち追加はこちら



きりとり線
✂



発電所公式Instagram

地元の「和み・癒し」をテーマに写真を投稿しています!



こちらからアクセス!



① 発電所について、知りたいことや疑問があればお聞かせください。

② 現在の発電所についてお聞かせください。

- ① 信頼できる ② まあ信頼できる
- ③ あまり信頼できない ④ 信頼できない

③ 発電所に対するご意見や改善点などをお聞かせください。

■ 読者プレゼントに応募する

ご希望の方は右記に○をお付けください。



※裏面のお名前、年齢、ご住所、電話番号を必ずご記入ください。
なお、ご記入いただく内容については、お間違いのないようお願いいたします。

サービスホール3月の催し **参加無料**

工作教室

土・日・祝開催 開館時間:9時~16時30分
※12時~13時を除く
毎月違った3種類の工作をご用意♪
難易度に合わせて、小さなお子さまでも
楽しくチャレンジできます。



難易度★
くるくるうずまき



難易度★★
モコモコアニマル



難易度★★★
万年カレンダー



スタンプラリー開催中!

5回の来館でスタンプを
ためた方には、オリジナル
エコロングッズをプレゼント!



お問い合わせ / 柏崎刈羽原子力発電所サービスホール TEL.0120-344-053 (9時~17時)



料金受取人払郵便

郵便はがき

945-8790

柏崎局
承認

56

柏崎市青山町16番地 46

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部 行

差出有効期間
2022年12月31日
まで
(切手不要)



きりとり線

ふりがな _____ 年齢 _____ 歳

お名前 _____ 男・女・回答しない

〒 _____

ご住所 _____

電話番号 _____

ご記入いただきました内容については、商品の発送、紙面づくり等に利用いたします。また、個人情報については適切に管理いたします。(2022年3月号)

ニュースアトムは、発電所PR施設(サービスホール、エネルギーホール、カムフィ、き・な・せ)に設置しております。ご自由にお持ちください。また、発電所ホームページなどWebでもご覧いただけます。

へんしゅう後記

ようやく、暖かい陽が差し込む日が増えてきました。ストーブ用の灯油を買いに行くのもあと1、2回で済みそうです。春が待ち遠しいですね!(西)



皆さまお久しぶりでございます。3か月間の研修も修了し、今月号から編集業務に復帰いたします。慣れない環境での日々は、何もかもが新鮮でとても充実した日々でした。研修で得たものを最大限に活かせるように、これからも精一杯頑張ります。あらためて、よろしくお願いたします。(楓)

■今月号の表紙 / 「菜の花と残雪の米山」
撮影場所: 柏崎市平井
撮影時期: 2020年3月



2022年3月13日発行

●編集発行責任者
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部
企画広報グループマネージャー
〒945-8601
柏崎市青山町16番地46
☎0120-120-448
(平日9時~17時)

《検索》

柏崎刈羽原子力発電所 🔍